

日本の未来のために、 日本文化の中心・京都へリニアを

趣意書

現在、リニア中央新幹線は京都を通らないルートにより整備が進められようとしております。

現行のルートは、昭和四十八年の「基本計画」において、東海道新幹線の老朽化や事故に備えた代替ルート（第二東海道新幹線）として決められたものです。しかし、その後、超電導リニア方式により整備されることとなり、機能や役割が当初の計画から変わっているにも関わらず、名古屋以西についてのルートの検討は一度も行われておりません。

リニア中央新幹線の整備は、日本の国土軸のあり方に関わる極めて重要な国家政策であります。四〇年前に決められたルートをもそのまま踏襲するのではなく、日本の未来にとって最適なルートを国民的な議論のもとで決定すべきです。

また、京都駅を核とする既存の鉄道ネットワークを活かすことで、幅広い地域でリニア中央新幹線の整備効果が享受できます。

千年を超えて日本の精神文化、ものづくり、学術、文化、芸術、宗教等の中心として、今も世界の人々を魅了し続ける京都が、これからも我が国の文化首都としての使命を果たすことは、関西はもとより、日本の発展にもつながります。そのためには、新たな交通の大動脈となるリニア中央新幹線が、京都駅を通るルートで整備されることが不可欠です。

ぜひとも、リニア中央新幹線の「京都駅ルート」実現、大阪までの全線同時開業、関西国際空港へのリニア延伸につきまして、御賛同と御尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

京都府リニア中央新幹線推進協議会

京 都 府

京 都 市

京都府商工会議所連合会